

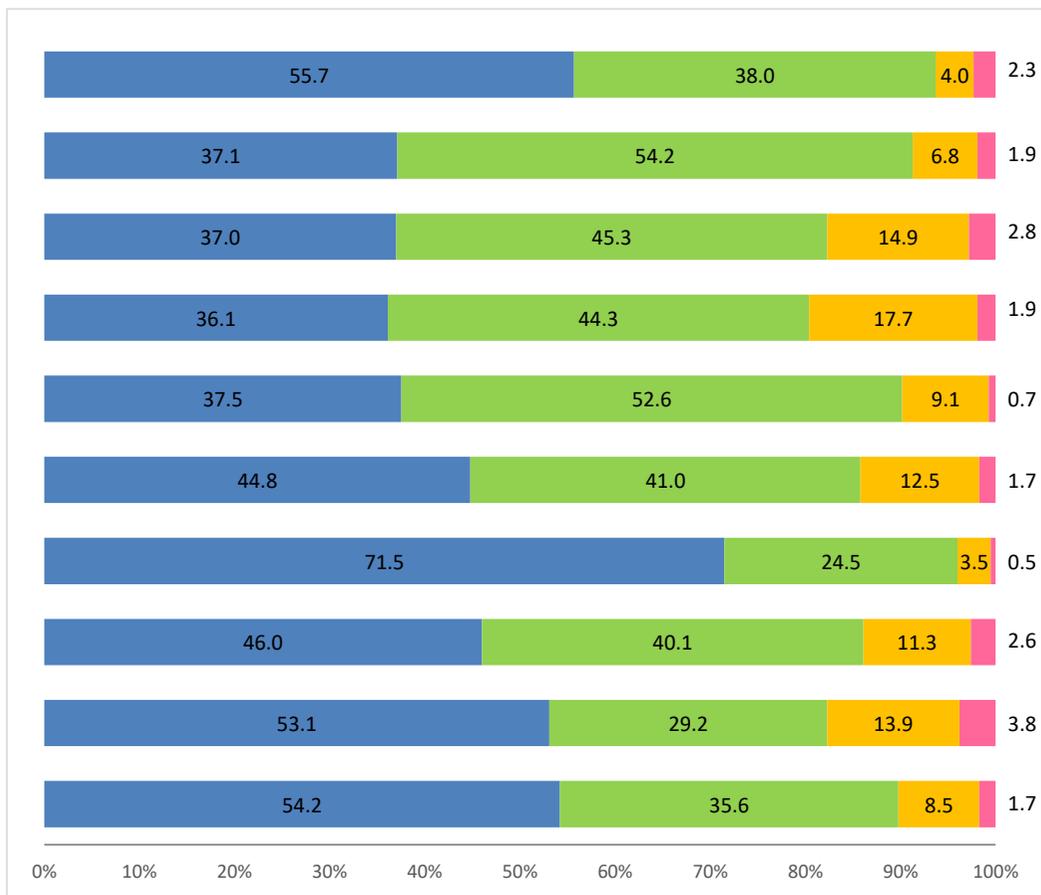
令和6年度 学校評価 児童アンケート

学校生活について

- 1 実施 令和6年12月
2 対象 全校児童（回答424）

- A そう思う B どちらかというと思う
C どちらかというと思わない D そう思わない

番号	アンケート項目	回答（パーセント）				A+B
		A	B	C	D	
1	学校は楽しいですか	55.7	38.0	4.0	2.3	93.7
2	授業はよく分かりますか	37.1	54.2	6.8	1.9	91.3
3	宿題を忘れずにやったり、持ち物の用意ができますか。	37.0	45.3	14.9	2.8	82.3
4	授業中進んで自分の考えを発表したり、友達の話を最後までしっかり聞くことができますか。	36.1	44.3	17.7	1.9	80.4
5	時間を守ったり、決まりを守ったりして生活できますか。	37.5	52.6	9.1	0.7	90.1
6	友達や地域の人とあいさつをすることができますか。	44.8	41.0	12.5	1.7	85.8
7	友達となかよく生活していますか。	71.5	24.5	3.5	0.5	96.0
8	病気やけがをしないように気をつけて生活していますか。	46.0	40.1	11.3	2.6	86.1
9	学校のことや友達のことを家族で話しますか。	53.1	29.2	13.9	3.8	82.3
10	中部小のことが好きですか。	54.2	35.6	8.5	1.7	89.8



- ・「1」については、A+Bの値が比較的高いものの、C+Dと考えている児童が6.3%いる。この6.3%の児童の思いを重く受け止め、分かる授業を工夫したり、友人とのかかわりを意図的に仕組んだり、行事を工夫したりしていく。さらには、できたことをほめ、よい行動を価値づけ、自己肯定感や自己有用感を実感できるようにする。
- ・「2」については、「1」と大きく関係することである。児童の「分からない」を大切に、「分からない」と言える環境づくりに努める。
- ・「3」については、家庭の協力を呼びかけていく。
- ・「4」については、本校で重点を置いて指導していることである。できている児童が多いため、できていることが実感できるような声かけをしていく。しかし、発言することに抵抗を感じている児童もいるため、その子なりの表現を認めていく。「聞く」という点では、課題もあるため、今後も継続して指導していく。
- ・「5」については、学校での継続的な指導の結果である。一方的な押し付けではなく、なぜ大切なのかを子どもに考えさせながら指導していく。また、道徳科の授業の充実を図る。
- ・「6」については、児童会中心に「あいさつキャンペーン」や中学校との「合同あいさつ運動」などに取り組んできた。今後も児童中心に取組が推進できるよう支援していく。
- ・「10」については、中部小学校のことは、全ての児童に好きになってほしいと願っている。今後も一人一人を大切に、一日一日の授業を大切にして、日々取り組んでいく。